

# 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年第 1 回定例会

順番	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	要 旨	答 弁 を 求める者
1	2	渡 辺 久 治	1 「笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」について	(1) 第 2 章 総合戦略 第 2 節 阿久根市の課題と方向性、「4. 交通ポテンシャルの向上を見通したまちづくり」の見地に立って今なにをすべきと考えるか。	市 長
			2 生ごみ堆肥化モデル事業について	(2) 第 3 節 重点目標 2-①阿久根に住む人を増やす(移住定住環境の充実)の個別施策・事業の中身は具体的にどのようなものか。 (3) 重点目標 2-②阿久根に来る人を増やす(交流人口の増大)で、個別施策・事業として、「歴史資源を生かした観光地づくり」とあるが具体的にどのように考えているか。 これまで実施してきて、ごみ処理費用の軽減・CO <sub>2</sub> の軽減等、具体的成果の実績は。	市 長 市 長
2	3	濱 田 洋 一	1 「笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」における第一次産業の取組みについて	(1) 農地整備事業中山間地域型阿久根南部地区について、その計画内容を伺いたい。 (2) 壮年世代新規就農者支援事業について、目的を伺いたい。 (3) 「うんまかもんで腹いっぱい」阿久根をまるごと食するバーベキューについて、目的を伺いたい。	市 長 市 長 市 長
			2 出会い・結婚支援の取組みについて	(4) 漁業後継者就業支援について、考え方及び目的を伺いたい。 「阿久根で縁結び」出会いサポート事業について具体的に伺いたい。	市 長 市 長
3	1 4	山 田 勝	1 阿久根市創生の具体的な取り組み	(1) ふるさと納税はお礼の品物によって納税額が決まる。地方創	市 長

				<p>生はその自治体の知恵の出し合い、努力が今ほど試されるときはなく、ふるさと納税制度は過疎の町でも元気になる唯一の財源確保と産業振興につながる。専門の部署を設置して積極的に取り組む考えはないか。</p>		
				<p>(2) バーベキュー大会は阿久根市をあげて1万人の集客を目標に、一大イベントを目指してほしい。大会に使う道具、材料、食材は、開催時期まで期間があるので、できるだけ市内で調達し、市内の事業者を育てることが、阿久根市の産業振興と阿久根市の創生につながると思うが市長の覚悟を聞きたい。</p>	市	長
				<p>(3) 地方創生についての提案で「お年寄りのラジオ体操」を提案したが、大して予算もかからない提案で、出来ることからやる必要があると思うが、どのようなになっているか。</p>	市	長
			2 阿久根市の財政運営と県との人事交流の意義	<p>(1) 阿久根市は国民宿舎の解体、市民交流センター建設と国県の補助金をもらえない事業が控えていて予算が消極的に感じる。どれも西平市長の時代に発生したことではないが、市長として乗り切るしかない。市長の見解を伺いたい。</p>	市	長
				<p>(2) 今年から2人にされる県との人事交流の派遣は、過去の例からして期待をしている。長島町は総務省からの派遣してもらった副町長の活躍がマスコミ、町民の間から聞こえてくる。</p> <p>阿久根市は1年前から県から立派な経歴の人材を派遣していただき財政課長補佐として働いてもらっている。しかし、優秀</p>	市	長

				<p>な人材であるだろうと想像はできるが、議会にも市民にも伝わって来ない、見えない。決算委員会で「市債についてどう思うか」と質問しても財政課長は答弁させない。これでは何のための人事交流か疑問に思う。それなりのポストと役割を議会にも市民にも知らせないと政治不信にもつながる。市長の見解を聞きたい。</p>		
4	8	野 畑 直	<p>1 花火大会の実施時期について</p> <p>2 職員の採用と給与について</p>	<p>花火大会の実施時期について、実行委員会で検討するとのことであった。委員会の結論と、今年の開催予定日を伺いたい。</p> <p>(1) 平成26年度総務省発表の地方公務員の市町村別平均年収ランキングをどのように受け止めるか。</p> <p>(2) 平成26年及び平成27年4月1日の阿久根市のラスパイレス指数と県内43市町村のラスパイレス指数の平均値は幾らか。また今回提案されている給与減額によるラスパイレス指数は想定されているか。</p> <p>(3) 平成26年度及び27年度の新規職員採用数に対する一次募集及び二次募集の応募者数と、受験者数、合格者数は何名だったか。また、平成28年度の新規職員採用予定数と応募者数、受験者数は何名だったか伺いたい。</p> <p>(4) 過去10年間で阿久根市職員を退職し、国や県、他の自治体へ再就職した職員は何人いたか、年度ごとに伺いたい。</p> <p>(5) 平成26年第1回定例会において、議案第16号「一般職に属する職員の給与に関する条例</p>	市	長
					市	長
					市	長
					市	長
					市	長
					市	長
					市	長

				<p>の一部を改正する条例の制定について」反対の立場で討論した。そのときは、一般職員の給与を4%から10%減額する提案だった。今回は昨年と同じ2%から5%減額する提案となっている。昨年から減額率を少なくした最大の要因を伺いたい。</p> <p>(6) 職員給与について、市長は就任以来、減額を続けているが、いつまで減額する考えか伺いたい。</p> <p>阿久根市は現在、小・中学生の医療費は無料化されているが、高校生までの医療費を無料化する考えはないか伺いたい。また県内で、高校生までの医療費を無料化している自治体はないか伺いたい。</p>	市	長
			3 子育て支援対策について		市	長
5	5	竹原 信一	<p>1 交流センター運営の見直し</p> <p>2 旧国民宿舎について</p> <p>3 都市建設課について</p> <p>4 業務の担当について</p>	<p>(1) 何に何回使うのか。</p> <p>(2) 利用に合う仕様を検討したか。</p> <p>(3) 採算の見直しは</p> <p>(4) 事業規模の根拠は</p> <p>今の条件で引受先があると考え</p> <p>る根拠は</p> <p>(1) 仕事が遅い。市営住宅トイレの水洗化はいつまで待たせるのか。</p> <p>(2) 住宅やガードレールの老朽化に対応が間に合っていない。市長は分かっているのか。</p> <p>業務の担当は縄張り主義から機能主義に変える。すなわち業務内容に沿うべきではないか。</p>	市	長
6	1	白石 純一	1 川内原発について	(1) 特定重大事故（航空機衝突、テロリズム）等対処施設設置の計画が発表されたが、現在これらに対応できていないことについて不安はないか。その完成時	市	長

			<p>期が明記されていないが、早期の完成時期を定めた完成を求めるべきではないか。</p> <p>(2) 免震重要棟撤回について、どのように考えられたか。</p>	市	長
		2 再生可能エネルギー有効活用について	<p>(1) どのような部署、担当で対応されるのか。</p> <p>(2) 再生可能エネルギー資源にも様々なものがあるが、阿久根で利活用の可能性がある資源は何か。</p> <p>(3) 薩摩川内で大型バイオマス施設が稼働し、当市から大量の木材資源が供給されていると聞かすが、当市木材の市内でのエネルギー利用は考えられないか。</p> <p>(4) 市施設で実験的導入を考えられる施設はあるか。</p> <p>(5) 個別の資源利活用方法の検討に加え、あくねエネルギービジョン等として、2千何年までに、再生可能エネルギーによる自給率何%を目指すというような目標設定が必要になるのではないか。</p> <p>(6) 市の再生可能資源としての木材は、エネルギーのみならず、公共建築や住宅に積極的に活用していくべきだと考えるが、いかがか。</p>	市	長
		3 当市の少年サッカーについて	<p>(1) J1リーガー5名を含む6名のJリーガーを輩出した当市の少年サッカーチームを、農林水産資源、観光資源等と並ぶ地域資源として育成すれば、人口減少対策、子供の教育、交流人口増加にも大きく寄与するのではないか。</p> <p>(2) 当市の総合グラウンドへのサッカーチーム（Jリーグ、大学、社会人）のキャンプ誘致は</p>	市	長

				<p>行っていないか。</p> <p>(3) これらのプロ、ハイレベルのアマチュアチームの練習に対応した芝（天然、人工）グラウンドの整備を進める考えはないか。</p>	市	長
7	1 1	濱崎國治	<p>1 地域の安心・安全対策の取り組みについて</p> <p>2 本市の偉人たちの石碑の建立によるまちおこしについて</p> <p>3 雇用機会や人材の確保による活性化の取り組みについて</p>	<p>地域の安心・安全の確保につながる防犯灯を耐久性の高い鋼材柱とLEDに整備できないかとの質問を昨年行ったが、その後の取り組み状況について</p> <p>薩摩藩留学生、寺島宗則卿の銅像や万葉歌碑の建立によるまちおこしの取り組み状況について</p> <p>新たな工場立地が難しい状況の中、地元企業の拡充を図ることが必要であると考えているが、人材の確保が厳しい状況であると聞く。市内の事業所に就職した場合の支援策の取り組みはできないか。</p>	市	長
8	7	竹原恵美	<p>1 各種委員会等の条例について</p> <p>2 市長等の給与及び市議会議員の報酬に対する増額の議案について</p>	<p>今定例会の議案には、各種委員会等の組織にかかわる条例が複数あるが、定数が「何人以内」と書かれているなど、幅のある言葉が使われている。そして、実際の委員会等の運用は、委員数を条例の上限値にはしていない。委員会等の公平性が保たれるためには、委員定数の下限値を明確にしておくなど、運用上の制限を明確にしておく必要があるのではないかと。</p> <p>(1) 今回、市長・副市長・教育長及び市議会議員の期末手当を実質増額する提案が行われたが、阿久根市の現状において、増額すべきではないと思うがいかがか。</p> <p>(2) 本年度は、国庫補助金の削減から多くの事業が保留や自主財源の充当を行っている。基金の積み立てなど、財政の弾力性を</p>	市	長

				<p>向上させる必要があると考えるが、給与等の削減効果の見える化として、また、削減をしている者の貢献が見える化するため、教育等に関する基金を設置して給与等の削減額をその基金の財源にあてて、運用を行う考えはないか。</p>		
			3 阿久根市での住民による自主活動について	<p>(1) 市が求める市民活動にはどのようなものがあるか。</p> <p>(2) 住民やNPO等の活動と市が直接担う事業との線引きはどのように考えているか。</p> <p>(3) リーダーや活動を担う人材をどのように育成していくか。</p>	市	長
			4 新市民会館建設について	<p>(1) 新市民会館ネーミングライツ、名前の公募を行う考えはないか。</p> <p>(2) 市有林の活用、木材選定などをどのように考えるか。</p>	市	長
			5 いじめの案件に対する第三者委員会について	<p>いじめの案件に対する第三者調査委員会には、家族又は遺族の認める委員を置くように条例に明記すべきではないか。</p>	市長・教育長	